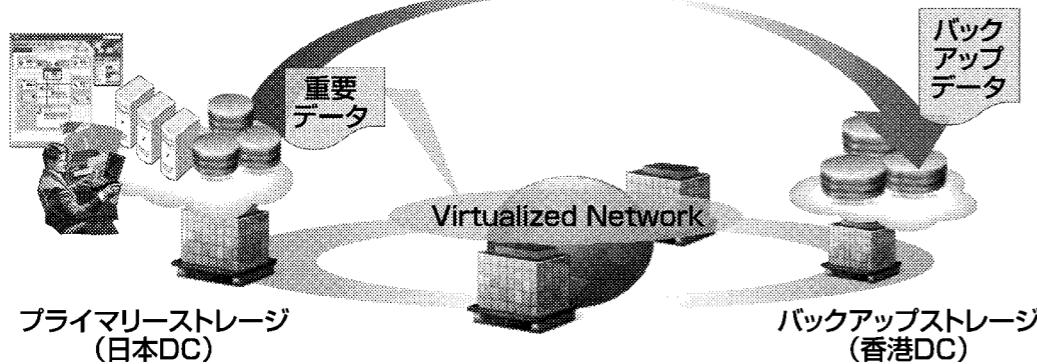


■通信■

モノづくり支えるICT

NTTコミュニケーションズのデータセンター間のリソース連携

- ・仮想ネットワーク技術により、グローバルDC間でのデータバックアップを経済化
- ・データ量にあわせて、リアルタイムに回線帯域をコントロール可能



【海外展開するグローバル企業のシステムをクラウドサービスで統合・改善にも貢献】

【クラウドサービスでシステムの拡張性と信頼性を向上】

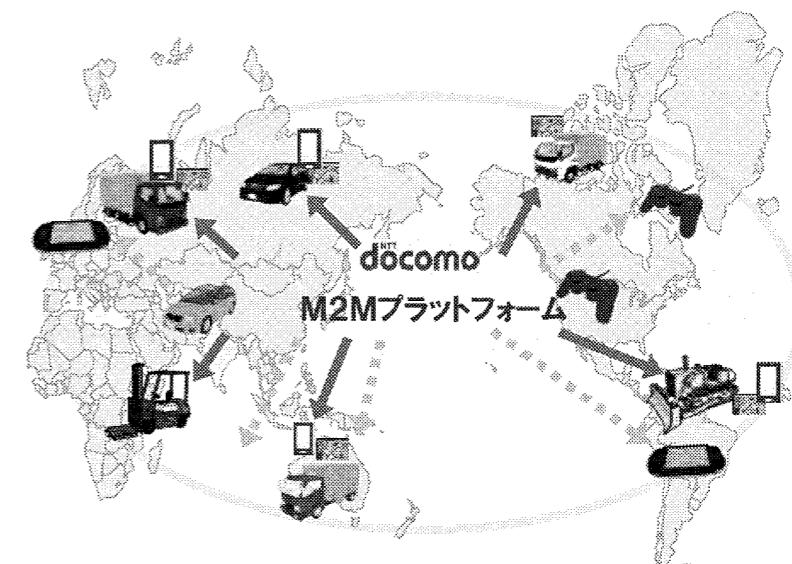
KDDIはクラウド型サービスでモノづくり企業をサポートする。熱交換器の製造販売手がけるティラドは、KDDIの仮想ネットワークサービス「スマートエリーパチ」を採用した。従来はデータセンターでシステム運用していたが、コスト改善やシステムの柔軟性、拡張性を目的にクラウドへの移行を決めた。

ヨンズは海外展開する製造業向けにグローバルクラウド・BIZホスティングエンタープライズラウド「ストラウド」を推奨する。国連は各國のシステムをクラウドで統合し、柔軟性のある運用や「コスト削減」の点を訴求した提案を行っている。

【スマートデバイスの活用を提案し、業務の効率化に寄与】

付加価値創出が成長の力

NTTドコモのM2Mサービス



国内外一体でグローバルにサービス展開

NTTドコモは製造業向けに通信モジュールを活用した機器間通信(M2M)の提案活動を積極的に行っている。自動車や建機、自動車用機器メーカーでは、自社製品にモジュールを搭載し、業務の効率化やサービス向上で活用する。

NTT東日本は中堅・中小企業を業務支援する「オフィスまるごとサポート」サービスの提供に力を入れている。中堅・中小企業は社員数が少なく専属のIT担当が多いケースが多い。そこで、通信モジュールを使って大量の情報を収集してビジネスに活用するビッグデータは今後、世界的

パンコンやプリンター、電話やリモート管理、訪問、IT管理ツールの4つの方法で業務支援する。

NTT東日本は、2月には日本マイクロソフト(東京)と協業を発表したNTT東日本社長(中央)、日本マイクロソフト(東京)本部長(左)、デルの郡社長(右)が、中堅・中小企業の開拓で協業を発表したNTT東日本社長(中央)、日本マイクロソフト(東京)本部長(左)、デルの郡社長(右)が、中堅・中小企業の開拓で協業を発表したNTT東日本社長(中央)、日本マイクロソフト(東京)本部長(左)、デルの郡社長(右)が、

都港区、横口泰行社長、雅之社長は「中堅・中小企業の業務サポートで日本市場で競争力アップに貢献したい」と話す。

当部長は「製造業へのソリューション提案を強化に拡大すると見られる。例えば、工場の生産

に貢献したい」と話す。

当部長は「製造業へのソリューション提案を強化に拡大すると見られる。例えば、工場の生産

に貢献したい」と話す。